

# 目 次

## 第1章 函館市義務教育基本計画策定に当たって . . . . . 1

- 1 背景と目的
- 2 基本計画の位置付け
- 3 基本計画の期間
- 4 基本計画の策定体制等

## 第2章 義務教育の現状と課題 . . . . . 3

- 1 義務教育を取り巻く環境の変化と背景 . . . . . 3
  - (1) 社会, 教育の背景の変化
  - (2) 子どもたちや保護者, 地域社会の状況
- 2 国における教育改革の動向 . . . . . 5
- 3 函館市における義務教育の状況 . . . . . 6
  - (1) 函館市の子どもや学校の現状
  - (2) 函館市における動向
- 4 函館市における義務教育の方向性 . . . . . 9

## 第3章 基本計画の基本理念 . . . . . 10

- 1 函館市における義務教育のめざす姿
- 2 めざす子ども像
- 3 基本姿勢

## 第4章 函館市義務教育基本計画の推進項目 . . . . . 12

- 個性豊かに生きる子ども . . . . . 14
- 優しさをもって生きる子ども . . . . . 19
- たくましく生きる子ども . . . . . 23
- 函館に生きる子ども . . . . . 26
- 共に未来を生きる子ども . . . . . 28

## 第5章 対話と協働を基調とした信頼される義務教育を進めるために・30

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 学校は                                   | 30 |
| 教職員は                                  | 33 |
| 教育委員会は                                | 34 |
| 家庭は                                   | 37 |
| 地域は                                   | 38 |
| 【資料編】                                 | 39 |
| 1 教育環境の側面から                           | 40 |
| (1) 出生数、出生率の推移                        |    |
| (2) 合計特殊出生率の推移                        |    |
| (3) 小・中学校の児童生徒数の推移と推計                 |    |
| (4) 小・中学校の学校規模の推移                     |    |
| 2 「個性豊かに生きる子ども」の側面から                  | 44 |
| (1) 国語科・算数科の標準学力検査（CRT）の結果（小学校5年生）    |    |
| (2) 学習に関する意識の実態（小学校5年生）               |    |
| 3 「優しさをもって生きる子ども」の側面から                | 48 |
| (1) 近所の人にあった時は、あいさつをしているか             |    |
| (2) 体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたことがあるか |    |
| (3) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか        |    |
| (4) いじめの態様                            |    |
| (5) 不登校の出現率の推移                        |    |
| 4 「たくましく生きる子ども」の側面から                  | 51 |
| (1) 生活習慣（朝食・運動）の状況                    |    |
| (2) 放課後や休みの日の過ごし方                     |    |
| (3) 子どもたちの体格の状況                       |    |
| (4) 中学校の部活動の設置状況                      |    |
| (5) 中学生の部活動の入部状況                      |    |
| 5 「函館に生きる子ども」の側面から                    | 54 |
| (1) 今住んでいる地域の歴史や自然について関心があるか          |    |
| (2) 今住んでいる地域の行事に参加しているか               |    |
| 6 「未来に生きる子ども」の側面から                    | 55 |
| (1) テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを決めているか    |    |
| (2) パソコンと携帯電話の所有率                     |    |
| (3) 子どもがメディアと接する時間                    |    |